



TOPIX

茨城県北ビジネスプラン 奨励賞 受賞!

県北
地域ビジネス
創出支援事業
未来をカタチに

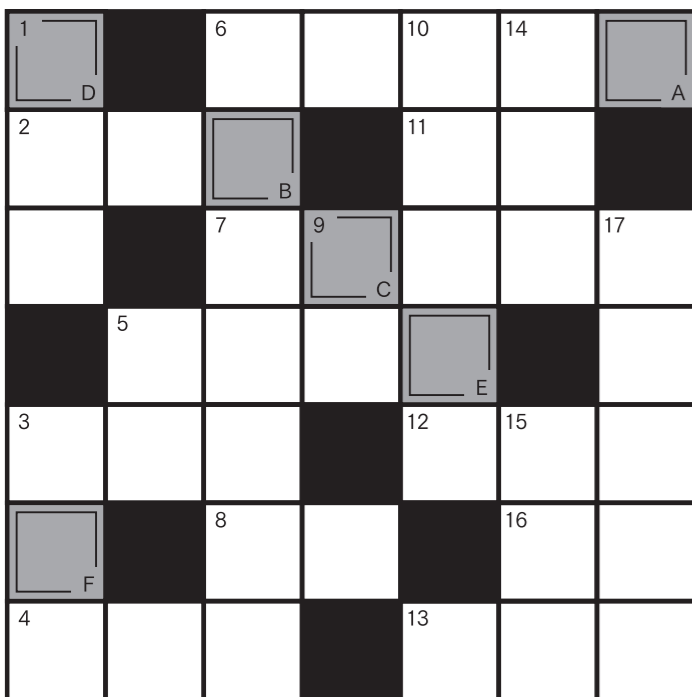
日立に元気を! 活力ある地域再構築への意志

2月11日、水戸市にある常陽藝文センターで「茨城県北ビジネスプランコンペティション2016」が行われた。県北地域の活性化を目的として始まったこの支援事業。今年で3回目を迎える。
相鐵は、県内外から52件の応募の中から1次審査を通過し、ファイナリスト10にノミネートされた。
“県北だからこそできる、ものづくりの再構築”というテーマを掲げ、三村代表が8名の審査員の前に熱弁をふるった。惜しくも最優秀賞には手が届かなかったが、現在の疲弊している県北のものづくりに対し、相鐵がハブとなり、この日立の地を活力あるものにしたい、と力強く訴えかけた。その場にいた誰もが、日立に相鐵あり!と、心に響くプレゼンとなった。



懸賞鉄クロスワードパズル

正解者の中から抽選で生クリーム大福「喜久福」を5名様にプレゼント! LET'S TRY!



ヨコのヒント

- ② 染めたり、巻いたり、縛ったり
- ③ 男性が一番大切にしているはず...
- ④ 今や主流の連絡手段
- ⑤ 眠気覚まし一杯!
- ⑥ 栃木県産の軽石
- ⑦ 有名な彫刻作品
- ⑧ 東西南北の四方向
- ⑨ 危ない! 危険!
- ⑩ 間隔が大事! 神経使います
- ⑪ 春を知らせてくれる鳥
- ⑫ 入ると笑いが止まらない

タテのヒント

- ① 話柄なんと既知?
- ② 春だけの短い恋?
- ③ ドキドキワクワク♡
- ④ 春だけの時お世話になっています
- ⑤ スペインの首都は?
- ⑥ お餅に入っていたらうれしい!
- ⑦ 臭やかな香りが特徴!
- ⑧ 屋根より高い○○○○○○

館とクリームの絶妙なハイブリッド!
食べ過ぎたら、だいふ苦しい^^

**生クリーム大福「喜久福」
4種詰合せ(16ヶ入)**

抹茶 クリーム
ずんだ ほじ茶

相鐵の今年の目標は「品質とこれ」です!!

解 答 欄	A	B	C	D	E	F
-------	---	---	---	---	---	---

A~Fに当てはめて言葉を完成させよう!!
ご応募は左記方法にて受け付けます。

応募締切日

5/31(水)

前号の答え **ばんどそー**

そ	ら	か	お	こ
い	あ	ど	ば	い
き	か	く	ま	り
そ	て	ら	め	す
ば	め	ん	な	し
い	こ	く	ご	は
き	ぼ	う	り	ち

解答は住所、電話番号、お名前をご記入の上こちらまでお願いします。(担当・平山)
MAIL sayuri.hirayama@soutetsu.jp (24時間受付) FAX 0294-33-2632 (24時間受付)
TEL 0294-33-2005 (午前8:00~午後5:00 土日・祝日を除く)

1週間限定

**シマ板(切断・定尺)
5%割引**

※対象期間5/22(月)~5/26(金)内のご注文に限りです。
※詳しくはホームページをご覧ください。

ちょっとひと息 編集後記

ご無沙汰しております。1年ぶりの相鐵新聞となりました、編集長の丸藤です。またひとつ歳を重ねてしまいました…。それは私に限ったことではなく、皆さんも一緒のはず。命あるもの全てに共通する概念。この1年何をしましたか? 何か成長した部分はありますか?と聞かれ、来年こそは胸をはって答えられる“男”になりたいと思う今日この頃です。これを読んでくれる貴方は花粉症ですか。日本人の3~4割の方は何らかの花粉アレルギーらしいですよ。

ちなみに私も軽度な花粉症です。この前、納品途中にインド出身の方と立ち話をする機会がありました。その方、しきりに鼻をかんだりすすったり。まさかとは思って聞きました。「花粉症ですか」と。答えはYes!。来日してから花粉症になったと言っていたが、まさに“郷に入れば郷に従え”だなあと。気になってリサーチしてみると、欧米にも枯草熱HayFeverなるものが存在していました。世界は広いようで狭いのかもかもしれません。



【相鐵新聞】No.005-2017
2017年5月発行
編集長 丸藤 秀則
相鐵株式会社
〒316-0004
茨城県日立市東多賀町5-19-10
編集部 Tel 0294-33-2005
Fax 0294-33-2632
URL www.soutetsu.jp

始めなければ、始まらない。未来は、つくるから面白い。“今”を生きるあなたに相鐵新聞



ハイブリッド社員誕生。 「部門の壁」を突き破れ!

この季節になると1年という月日の早さを実感できる。それは、春の足音を聞きながら始まる3月下旬、相鐵アワードが開催されるからである。今年の受賞者は、総務部の面川明美である。総務部のイメージを覆すような活躍をみせた彼女は、いってしまえば謙虚に受賞の喜びを語ったのが印象的であった。総務部とは一般的に、内勤で社内雑務をこなすというイメージがある。だが、相鐵の中でもとりわけ彼女は異色。営業と同行しお客様の元へ足を運ぶ。展示会に参加し新規顧客との架け橋をつくる。納期調整のために外注先へ出向いて、直接交渉をする。今までにない働き方、固定観念を打ち破り新しい相鐵社員像を確立しつつあるのかも知れない。(アワード受賞のインタビューは3ページに掲載)

①「赤いブルーカラー」
コピーライター小山さんの朗読



②各部門長が発表
去年の反省と今年の目標



③製造部 佐藤洋平へのインタビュー
新しいファイバーレーザー切断機について



④相鐵の新しい仲間
埋上で記念撮影



⑤登壇する三村社長
社員に向けてメッセージを送る



⑥製造部 小野寺誠
敬謝状おめでとうをいいます



ここでは、3月24日に開催された「第4回相鐵アワード授賞式」の様子をレポートしたいと思います。全社員が一堂に会し、みんなが楽しみにしている一大イベント。今年1年の活力、社員同士の刺激になる貴重な時間が幕を開けます。昨年同様、司会は鈴木恵理。音響は疋橋史が担当。会場の雰囲気盛り上げ、スムーズな進行によりゆくりと時間が流れ始めます。では、相鐵アワード2017のスタートです。

相鐵を語るうえで、この言葉は欠かせない。「赤いブルーカラー」。がむしゃらに汗を流し、体を動かす。ブルーカラーの作業服を着て、「鉄を断ち切る赤い炎のように赤く、赤く、燃えている。僕らがものづくりをつくるんだ」。このフレーズは創業50周年を迎えた3年前、コピーライターである小山さんが相鐵のために作ってくれたものです。今年はお本人自ら、社員に向けて朗読いただきました。これを聞いたり読んだりすると、相鐵魂がフル充電される気がするんです。まだ知らないあなたは是非、相鐵ホームページをご覧ください。

続いては、「営業」「総務」「設計」「製造」「配達」の各部門長から、去年1年間の反省と今年の目標などの発表がありました。会社の規模が大きくなると同時に、潜在化・顕在化している問題にどう向き合っていくのか、明確なビジョンが打ち出されました。部門間をつなぐ「鉄のリレー」をスムーズに行えるよう、部門長を中心に切磋琢磨していく。社員全員のベクトルを合わせる意味でも、有意義な時間となりました。

次に登場したのは、製造部 佐藤洋平。昨年の夏に導入した新型レーザー切断機について、インタビューとの対談形式で、苦労したことやプライベートのことまで語ってくれた。入社11年目の34歳。入社後はガス切断からスタート、2年後には現在のレーザー切断担当となった。導入機については、「名前と同じ“レーザー切断機”ですが、まったく別物です。見た目もスタイリッシュになったんですが、当初はボタンを押すだけでも怖かったですね」と話してくれた。当日、会場には家族も駆けつけていた。今現在の仕事へのモチベーションについては、「とにかくやるしかない。妻や子供のためにがんばるしかない。結婚して変わったことは、家族のためにと思えるようになったことですかね」と。相鐵の主力であるレーザー切断機のひとつとして、今後の活躍に目が離せません。

今年も相鐵に新しい仲間が増えます。青い作業着に身を包む彼ら3名が、今年の新入社員です。社会人1年目、期待と不安が入り混じったこの頃がとてほろろと思います。全てが新しい経験、毎日が新鮮な気持ちで日々を過ごすことでしょう。この第5号が発行されている頃は、現場で汗を流し働いているはず。後半、沼田工場長から3名に向けてエールが送られました。「がむしゃらに仕事をする。失敗を恐れずやってほしい。それもまた経験、これからのみんなの肥やしになるから」。赤い相鐵魂を胸に刻み、一緒に汗を流し仕事ができる事を楽しみにしています。

三村社長より今年の目標発表がありました。相鐵2017スローガンは、「品質とチームワーク」。社員一丸となり、お客様に満足してもらえる“ものづくり”をしています。又、会社全体の組織を見直し、新体制でのスタートとなります。若い社員が増えました。この先、100年企業を目指し相鐵は前に進んでいきます。

いよいよアワードも終盤。ここからは各賞の発表となります。まずは皆勤賞。1年間休みなく仕事に打ち込んだ社員への表彰です。素直に素晴らしいことだと思います。おめでとうございます。続いて敢闘賞。もっとも努力し、もっとも成長した社員に贈られる賞。栄えある受賞者は、ガス切断担当の小野寺誠です。プレゼンターの相談役からは、「入社当時は、薄板でさえ切断するのに苦労していた彼。だけど、今は厚板も切れるようになった。自分に厳しく、がむしゃらに日々努力した結果だと思う。新入社員の3名も、彼を見習ってがんばってほしい。出来ないことはないから。絶対できる!」と言っていたのが印象的でした。

そして、相鐵アワード2017の発表です。

プレゼンターは昨年の受賞者、野内一孝。ドラムロールが鳴る中、「今年の受賞者は、面川明美です」と会場中にその名が響きました。会場からは拍手と賛辞が送られ、今年のアワードも幕を閉じました。受賞スピーチでは、全社員への感謝の言葉を語り、自分の頑張りを評価してくれた社長への信頼も口にしています。同僚の中には、感動し涙する者もいました。一番近くで見えていたからこそ、その努力と頑張りを知っていたはず。とても綺麗なフィナーレだったと思います。

来年、この栄冠を手にするのは一体誰なのか。またこの場所でお会いしましょう。お読みいただき、ありがとうございました。

「相鐵アワード2017」授賞式をレポート!!!



面川明美、相鐵アワード受賞の想いを語る

感謝を忘れず謙虚に「前へ」

笑顔をやさず、常にポジティブに仕事をする。今年の受賞者、面川明美である。アワードを受賞したことにより、今までにも増して“自信”と“相鐵魂”が強くなったことだろう。そんな彼女に、受賞後の心境などを語ってもらった。

受賞おめでとうございます。率直な気持ちを聞かせて下さい。

面川：素直にうれしいです。この一年辛いことの方が多かった気がします。でも、頑張ってきたことが評価してもらえたので、良い経験になりました。

受賞後のスピーチで、各部門へ感謝の言葉を送っていましたが。

面川：受賞して初めて思うんだと思います。周りのみんながサポートしてくれたおかげで受賞できたんだなって。だからみんなに感謝したいですね。

今、「仕事楽しい」と言っていました。その理由はなんですか。

面川：女性だからこれはやらない、やれない、やりたいことが出来なかったことがあります。男女の隔りなく仕事が出来ている。今が楽しい理由です。

入社後と今の自分では大きく変わりましたが。面川：設計部から総務部へ異動したことで、仕事の幅が広がりました。正直、「ここまでやるの?」と思うこともありますけどね(笑)。

最後に、今後の抱負などお聞かせ下さい。面川：“元気に明るく”をモットーに、お客様にベストチョイスをお届けしたいと思います。これからも、がむしゃらに頑張ります。



新レーザー切断機導入

変種変量生産の効率化を実現へ



※佐藤担当 アマダ製ファイバーレーザー(6段パレットチェンジャー搭載)

昨年夏、「より良いものをより早く」を合言葉に、2台の新型機を導入した。ここでは、オペレーターである佐藤洋平、西山伴へのインタビューをお届けする。

佐藤：銅・純アルミなど切断可能な材料が増えたことですね。西山：やっぱりスピードですかね。確実に1日の切断枚数は増えてると思います。

導入後の感想はどうでしたか。佐藤：本当に不安しかなかったですね。西山：僕も同じです。同時に、プレッシャーも感じました。自分たち本人しか操作できないわけですから。

本格稼働して6ヶ月、現在の心境を聞かせて下さい。佐藤：本当の意味で、使いこなせるようになりたいです。西山：機械に動かされるのではなく、機械を動かしていると言われたいですね。

以前と比べて、一番変わったところは。西山：1日の切断枚数が多くなりました。とにかくスピードUPしたことを実感しています。佐藤：僕の場合は、パレットチェンジャーですかね。以前は2段、現在は最大6段まで可能になったので。設備のスピードに追いつけないです(笑)。



新レーザー切断機の強みはなんですか。



※西山担当 日設タナカ製CO2レーザー



かみやま みゆうと
神山夢有人 製造部

- ①マイペースでのんびり屋 ②釣り、キックボクシング ③学校行事には積極的に参加し、2,3年時は応援団を務めました ④工業系出身ではないですが、よろしく願います ⑤一日でも早く仕事を覚え、資格も取得したいです ⑥家族と焼肉を食べに行く



こまつ りゅうき
小松龍樹 製造部

- ①おだやかで飽きっぽい ②ソフトテニス ③3年間休みなく登校し、資格を取得することが楽しかったです ④顔と名前をはやく一致させたいです ⑤早く仕事を覚え、迷惑をかけないように頑張ります ⑥両親へ何かプレゼントしたい



すずき なおゆき
鈴木直幸 製造部

- ①闇の深い鈴木です ②エレキギター、読書 ③ボランティア部と理科部を両立し、3年間で100冊読破賞をとったこと ④環境に早くなりたいです。よろしく願います ⑤ケガをせず、安心安全に仕事をしたいです ⑥貯金、親に渡す

- ①自己紹介②趣味 ③高校生活のエピソード④先輩へのメッセージ ⑤今後の抱負⑥初任給の使いみち

ようこそ相鐵へ。 新しい仲間を紹介します。